

未来を考える

2026 環境報告書

地球への思いやり

琵琶湖を愛する



報告対象組織：日本精工株式会社 大津工場

報告対象年度：2025年4月1日～2026年3月31日

■工場概要



事業所名： 日本精工株式会社 大津工場
設立： 1953年11月7日
所在地： 滋賀県大津市晴嵐一丁目16番1号
敷地面積： 64,281.11㎡
主な製品： 単列深溝玉軸受 ユニット製品
複列アンギュラ玉軸受（MCB軸受）
円筒ころ軸受 ターボチャージャー用軸受
従業員数： 605名(3月末)

主な製品



(単列深溝玉軸受)



(電動ブレーキ用B/S・外輪)



(複列アンギュラ玉軸受(MCB))

■環境方針

日本精工株式会社（略称：「NSK」）本社部門にて定められたNSKグループ全体の環境方針があります。また、本社方針を踏まえて工場独自に環境方針を作成しており、当工場の環境活動の基本となっています。

NSK
我々の理念
NSKは、MOTION & CONTROL™を通じ
円滑で安全な社会に貢献し、
地球環境の保全をめざすとともに、
グローバルな活動によって
国を越えた人と人の結びつきを強めます。

NSK 環境方針
NSKは、MOTION & CONTROL™を通じ、円滑で安全な社会に貢献し、地球環境の保全をめざすことを企業理念に定めています。
その実現に向けて、NSKグループは自ら高い目標を掲げ、製品を通じた環境貢献の最大化と、事業活動による環境負荷の最小化に挑戦しつづけます。
「変わる 超える」で、環境負荷ゼロへの取り組みを進め、グリーン社会の発展に向けた新しい価値を創出し、社会から必要とされ、信頼され、選ばれ、そして持続的に成長する会社を目指します。
1. 脱炭素社会構築に貢献
NSKグループは、トライボロジー技術の深化と製品・サービスの高度化により社会のエネルギーロスの最小化に貢献します。また技術革新を通じて、事業活動からの温室効果ガスの排出ゼロ／カーボンニュートラルを目指します。
2. 循環型社会構築に貢献
NSKグループは、環境にやさしい製品の開発と、ムダのない生産を通じて、循環型社会の構築に貢献します。
3. 自然共生社会構築に貢献
NSKグループは、環境汚染の未然防止とサプライチェーン全体を通しての環境負荷の最小化に努め、自然共生社会の構築に貢献します。
1997年12月12日 制定
2021年11月15日 改定
日本精工株式会社
代表執行役社長・CEO
地球環境保全委員会 委員長
市井明俊

(NSKグループ環境方針)

日本精工株式会社 大津工場 環境方針
日本精工株式会社大津工場は、国定公園である琵琶湖、瀬田川や比叡山地に囲まれた水と緑に恵まれた美しい景観の中で、軸受を主として製造する工場です。
これらに代表される豊かな環境を保全するための取組みが、大津工場の存在と活動に必須であることを認識し、持続可能な社会の構築を目指し、自主的・積極的に行動します。
1. 脱炭素社会構築に貢献
トライボロジー技術の深化と製品・サービスの高度化により社会のエネルギーロスの最小化に貢献します。また技術革新を通じて、事業活動からの温室効果ガスの排出ゼロ／カーボンニュートラルを目指します。
2. 循環型社会構築に貢献
環境にやさしい製品の開発と、ムダのない生産を通じて、循環型社会の構築に貢献します。
3. 自然共生社会構築に貢献
環境汚染の未然防止とサプライチェーン全体を通しての環境負荷の最小化に努め、自然共生社会の構築に貢献します。
作成・発行 2023年4月1日
日本精工株式会社 大津工場
工場長 宇野克彦
配布区分： 管内・標準品 管理番号：
Public:NSK111

(工場環境方針)

【NSK理念・環境方針・工場環境方針】

NSKの理念

NSKは、MOTION & CONTROLを通じ、円滑で安全な社会に貢献し、地球環境の保全をめざすとともに、グローバルな活動によって、国を越えた人と人の結びつきを強めます。

NSK環境方針

NSKは、MOTION&CONTROLを通じ、円滑で安全な社会に貢献し、地球環境の保全を目指すことを企業理念に定めています。

その実現に向けて、NSKグループは自ら高い目標を掲げ、製品を通じた環境貢献の最大化と、事業活動による環境負荷の低減に貢献しつづけます。

「変わる、超える」で、環境負荷ゼロへの取組みを進め、グリーン社会の発展に向けた新しい価値を創出し、社会から必要とされ、信頼され、選ばれ、そして持続的に成長する会社を目指します。

1. 脱炭素社会構築に貢献

トライボロジー技術の深化と製品・サービスの高度化により社会のエネルギーロスの最小化に貢献します。また技術革新を通じて、事業活動からの温室効果ガスの排出ゼロ／カーボンニュートラルを目指します。

2. 循環型社会構築に貢献

環境にやさしい製品の開発と、ムダのない生産を通じて、循環型社会の構築に貢献します。

3. 自然共生社会構築に貢献

環境汚染の未然防止とサプライチェーン全体を通しての環境負荷の最小化に努め、自然共生社会の構築に貢献します。

大津工場 環境方針

日本精工株式会社大津工場は、国定公園である琵琶湖、瀬田川や比叡山地に囲まれた水と緑に恵まれた美しい景観の中で、軸受を主として製造する工場です。

これらに代表される豊かな環境を保全するための取組みが、大津工場の存在と活動に必須であることを認識し、持続可能な社会の構築を目指し、自主的・積極的に行動します。

1. 脱炭素社会構築に貢献

トライボロジー技術の深化と製品・サービスの高度化により社会のエネルギーロスの最小化に貢献します。また技術革新を通じて、事業活動からの温室効果ガスの排出ゼロ／カーボンニュートラルを目指します。

2. 循環型社会構築に貢献

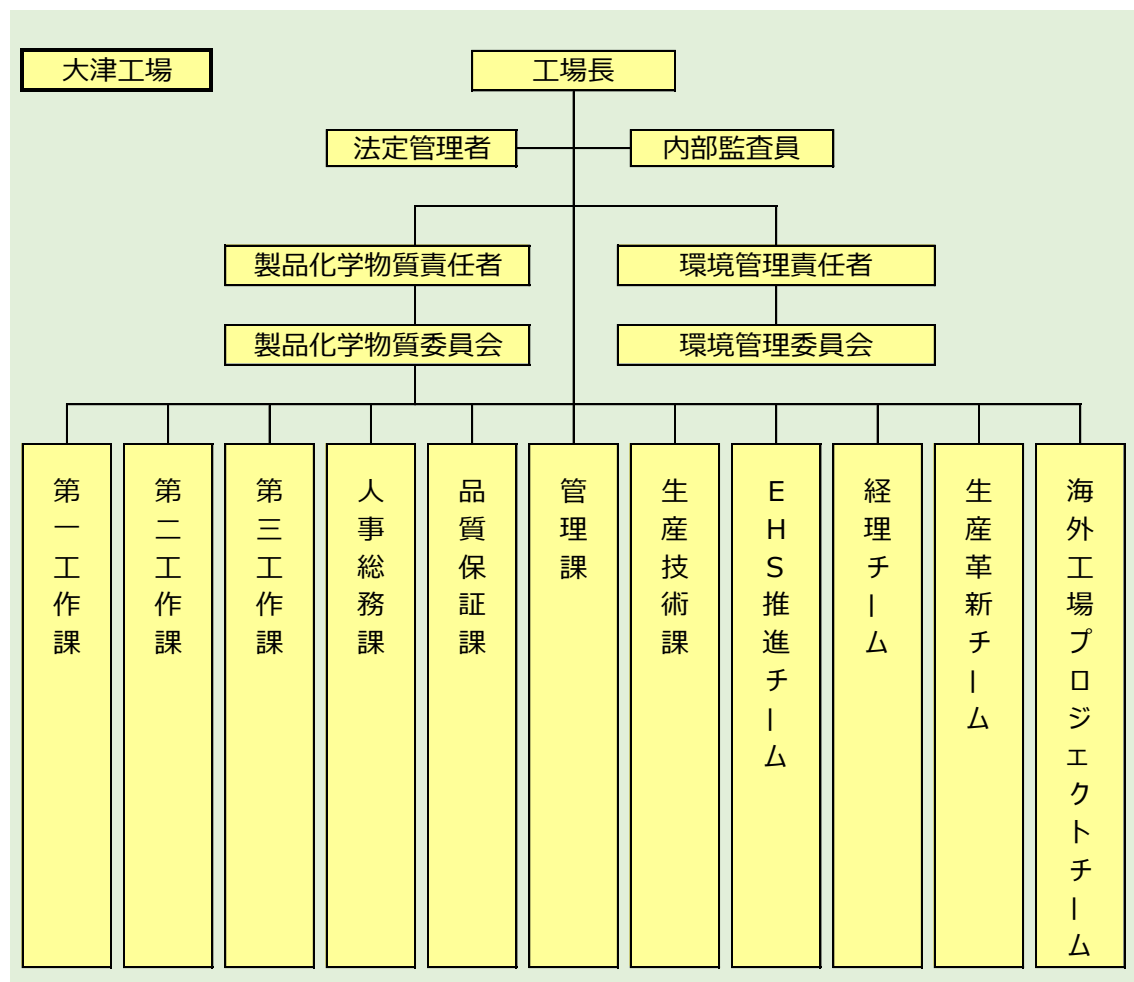
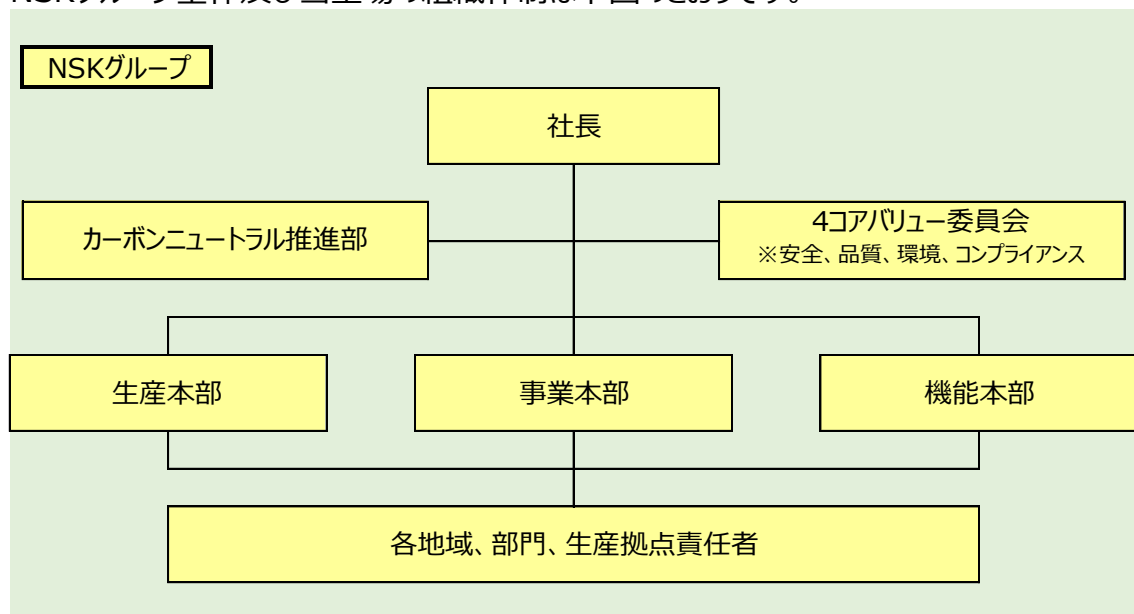
環境にやさしい製品の開発と、ムダのない生産を通じて、循環型社会の構築に貢献します。

3. 自然共生社会構築に貢献

環境汚染の未然防止とサプライチェーン全体を通しての環境負荷の最小化に努め、自然共生社会の構築に貢献します。

■ 環境組織体系

NSKグループ全体及び当工場の組織体制は下図のとおりです。



■工場沿革と環境保全

工場沿革	年	環境保全活動
西日本精工株式会社設立 単列深溝玉軸受生産開始 日本精工(株)と吸収合併し、大津工場となる	1953 1966	
2号工場完成 5号ユニット工場完成 オートテンショナー生産開始	1975 1976 1982 1991	環境管理部設置（本社） 公害防止協定締結 環境関連工場規定制定 滋賀県環境保全協会環境保全優良事業所受賞
ISO9001認証取得 QS9000/ISO9001認証取得 大津工場と石部工場を統合し滋賀工場となる （大津プラントとなる）	1993 1994 1997 1998	NSK地球環境委員会発足 滋賀県環境保全協会地域環境保全功労者受賞 NSK環境方針制定、化学物質管理内部監査
複列アンギュラ玉軸受生産開始 QS9000/ISO9001滋賀工場統合認証取得	1999 2000	ISO14001取得 大津市環境管理実施事業所認定 ISO14001滋賀工場統合取得 環境保全協定締結
EL工場生産開始（並径小ロット品） ISO9001:2000・ISO/TS16949認証取得	2001	滋賀工場環境報告書第1号発刊
センサー軸受生産開始 滋賀工場が分離し、大津工場、石部工場となる	2003 2004	滋賀工場研削くず固形機全建屋設置完了 ISO14001分割審査（大津・石部）
	2005 2006 2007	ISO14001更新・2004年版移行審査 空調設備燃料都市ガス化 特高受電設備 更新移設 地下タンク更新(二重殻化) 空調設備熱源更新（都市ガス→電気（1基））
	2009 2010 2011	製品化学物質委員会発足 PCB廃棄物(コンデンサ)の処分 地下タンク更新(二重殻化) 大型油水分離槽設置
	2012	地下タンク更新（二重殻化・電気防食） コージェネレーション設備導入
ターボチャージャー用軸受生産開始 円筒ころ軸受生産開始	2013 2014 2015 2016	診療所前油水分離槽設置 地下タンク更新(二重殻化) 地下タンク更新(二重殻化) 地下タンク更新(二重殻化) 食堂下水処理施設設置
	2017 2019 2021 2022	ISO14001更新・2015年版移行審査 コンプレッサー更新（12台）完了 PCB廃棄物(蛍光灯安定器)の処分
	2023 2024 2025	再エネ電力に切替（高圧受電） 防音壁の設置 埋設配管の架空化（1号超仕上工程）

■ISO14001

1999年11月に認証を取得し、2023年度に8回目の更新審査を受審し登録を受けました。

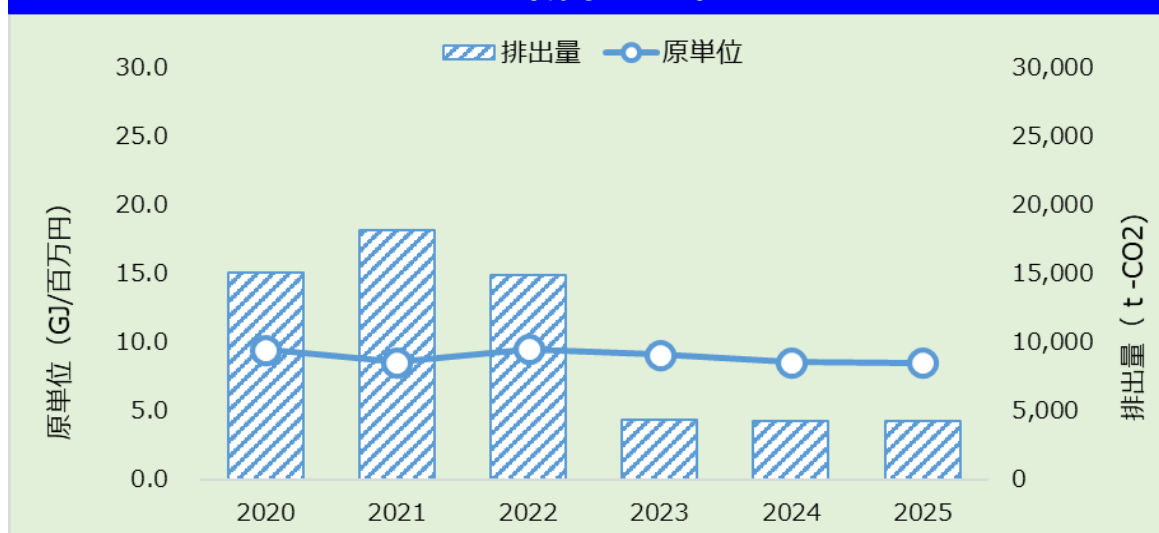


■2025年度の環境取組

分類	項目	目的・効果
大気汚染防止	空調の煤煙測定(2回/年)	定期測定による監視
	空調の定期点検(2回/年)	メーカー定期点検による維持管理
水質汚濁防止	水質測定(毎月)	定期確認による維持管理
	地下タンク内部補修	油類流出防止
	液面計改善	油類流出防止
	埋設配管架空化	油類流出防止
土壌汚染防止	水質定期測定(地下水) 1回/年	定期確認による維持管理
騒音・振動	騒音・振動測定	定期確認による維持管理
省エネ	ポンプ高効率化	エネルギー使用量削減
	設備の待機電力の削減	エネルギー使用量削減
	エア・漏れの削減	エネルギー使用量削減
	LED蛍光灯へ更新	エネルギー使用量削減
廃棄物管理	廃油量削減取組	廃棄物の削減
	廃棄物委託先現地確認	廃棄物の適正管理
景観向上	正門前花壇の花植替え	景観向上
緑化・美化	工場内花壇の花植替え	景観向上

■ 監視・測定の実績

CO2排出量・エネルギー原単位推移グラフ



放流水水質(月に1回外部測定機関に測定依頼)

	pH	BOD _(mg/l)	COD _(mg/l)	SS _(mg/l)	n-hex _(mg/l)	T-N _(mg/l)	T-P _(mg/l)
規制値	6.0～8.5	15	20	40	5	20	1
自主基準値	6.2～8.3	10	15	25	4	15	0.8
実績値 (MAX)	7.1～8.1	4.0	10.0	4.1	<0.5	2.5	1.2※

空調機熱源ばい煙(年に2回外部測定機関に測定依頼)

	ばいじん (g/Nm ³)	NOx (ppm)	SOx (K値)
規制値	0.10	150	8.76
自主基準値	0.05	120	1.50
①実績値 (MAX)	0.00	28.2	0.00
②実績値 (MAX)	0.00	22.9	0.00
③実績値 (MAX)	0.00	19.6	0.00
④実績値 (MAX)	0.00	22.6	0.00

ガス発電機ばい煙(年に2回外部測定機関に測定依頼)

	ばいじん (g/Nm ³)	NOx (ppm)	SOx (K値)
規制値	0.04	600	8.76
自主基準値	0.03	500	1.50
実績値 (MAX)	0.00	223.9	0.01

騒音(年に2回敷地境界線にて測定) (dB) (MAX)

	6:00～8:00	8:00～18:00	18:00～22:00	22:00～6:00
規制値	65	70	70	60
自主基準値	63	68	68	58
実績値 (MAX)	56	66	57	56

振動(年に2回敷地境界線にて測定) (dB)

	8:00～19:00	19:00～8:00
規制値	65	65
自主基準値	60	55
実績値 (MAX)	46	45

※原因は不明だが一時的に発生。前後の測定では0.2以下であり問題はないと考えられる。

■ 2026年度に予定している取組

分類	項目	目的・効果
大気汚染防止	空調の煤煙測定(2回/年) 空調の定期点検(2回/年)	定期測定による監視 メーカー定期点検による維持管理
水質汚濁防止	環境訓練(油流出想定) 水質測定(毎月) 地下タンク内部補修 埋設配管架空化	油類流出防止 定期確認による維持管理 油類流出防止 油類流出防止
土壌汚染防止	水質定期測定(地下水) 1回/年	定期確認による維持管理
騒音・振動	騒音・振動測定	定期確認による維持管理
省エネ	ポンプ高効率化 設備の待機電力の削減 エアー漏れの削減 LED蛍光灯へ更新	エネルギー使用量削減 エネルギー使用量削減 エネルギー使用量削減 エネルギー使用量削減
廃棄物管理	廃油量削減取組 廃棄物委託先現地確認	廃棄物の削減 廃棄物の適正管理
景観向上	正門前花壇の花植替え	景観向上
緑化・美化	工場内花壇の花植替え	景観向上

■ 統合報告書

NSKグループ全体についての取り組みについて記載されている、統合報告書・アニュアルレポートを本社にて発行しております。詳しくはNSKホームページでご確認ください。
https://www.nsk.com/jp/investors/library/nsk_report.html



お問い合わせ先

〒520-0833

滋賀県大津市晴嵐一丁目16番1号

日本精工株式会社 大津工場

TEL:077-537-1600 (代)